

証券コード：6841
横河電機株式会社

2023年3月期 第1四半期
決算説明会

執行役員 経理財務本部長

中嶋 倫子

2022年8月9日

目次

1. 2023年3月期 第1四半期 連結決算の概要 P. 3

執行役員 経理財務本部長 中嶋 倫子

2. 決算補足資料 P. 16

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残推移

研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

3. 参考資料 P. 24

制御ビジネス金額別受注推移／トピックス

YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2023年3月期 第1四半期 連結決算の概要

対象期間：2022年4月1日～2022年6月30日

■第1四半期実績：増収減益

- サマリー 受注は、対前年で大幅伸長
売上は、為替の変動影響等により増収
営業利益・四半期純利益は、減益
- セグメント別 制御 増収減益 (除・為替影響：受注28.6%増、売上0.2%増)
測定器 売上はほぼ前年並み、減益
新事業他 減収、営業損失は縮小
- 地域別 受注は、中東・アフリカ、中南米が好調
- 業種別 Upstream、Chemicalが堅調

■通期業績予想：為替レート前提のみ変更 (1USD=120円→130円)

- FY21より、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、従来「計測事業」セグメントに含まれていたライフィノベーション事業を「制御事業」セグメントに区分を変更するとともに、従来「計測事業」としていた報告セグメントの名称を「測定器事業」に変更しています。なお、FY20のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。
- FY21まで「航機その他事業」としていた報告セグメントについては、航空機用計器事業の譲渡に伴い、FY22から名称を「新事業他」に変更しました。

決算サマリー（前年同期比）

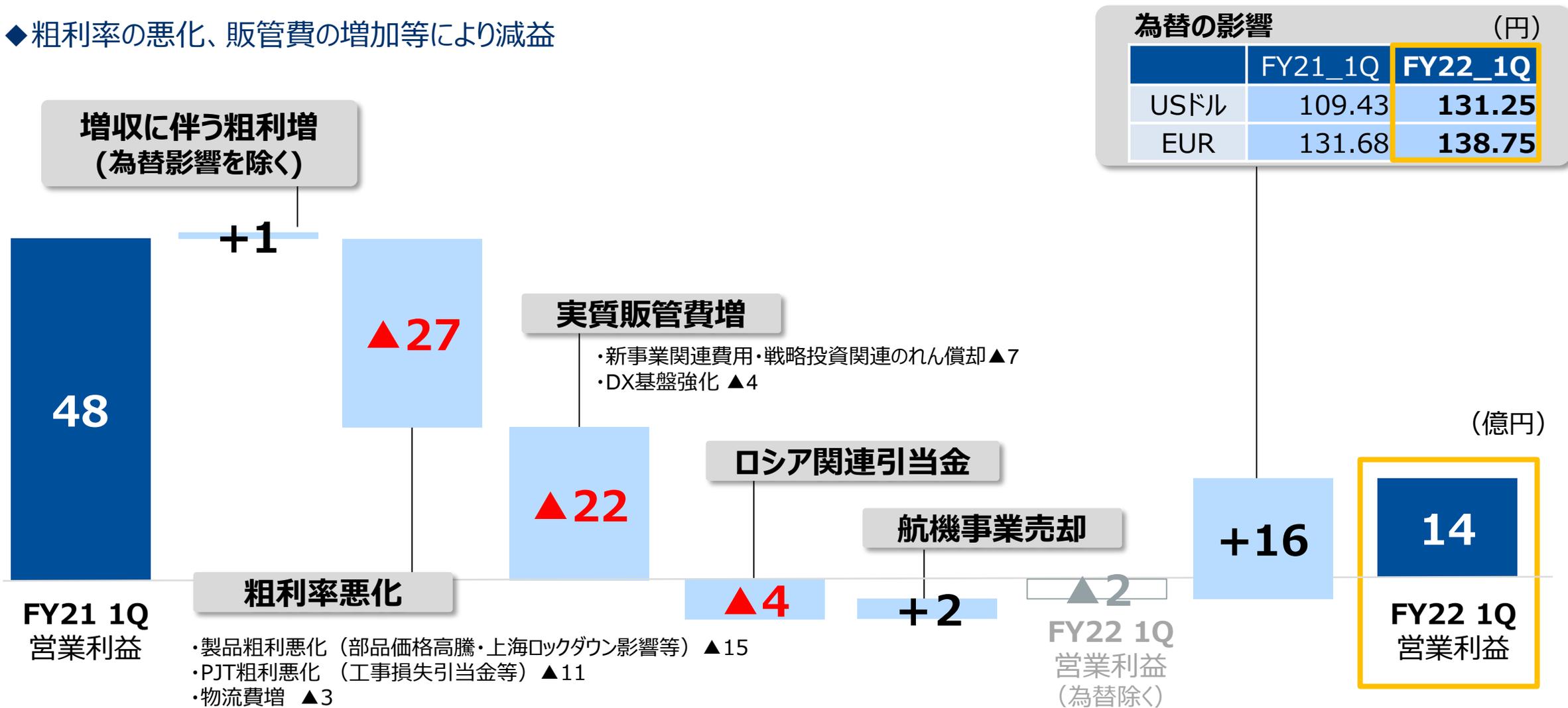
- ◆受注・売上：受注は**大幅伸長**（除・為替影響+27.6%）
売上は為替の変動影響等により**増収**（除・為替影響▲1.1%）
- ◆営業利益：粗利率の悪化、販管費の増加等により**減益**
- ◆四半期純利益：**減益**

（億円）

	FY21_1Q	FY22_1Q	差異	増減率	為替影響
受注高	956	1,343	+387	+40.4%	+123
売上高	863	940	+77	+9.0%	+87
営業利益	48	14	▲34	▲70.7%	+16
R O S (%)	5.6	1.5	▲4.1pt	—	—
経常利益	53	26	▲27	▲50.6%	+15
親会社株主に帰属 する四半期純利益	30	13	▲16	▲55.2%	+15
為替レート 1米ドル=	109.43円	131.25円	+21.82円	—	—

営業利益分析（前年同期比）

◆粗利率の悪化、販管費の増加等により減益



セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆ 制御事業： 受注は堅調。売上は為替の変動影響等により増収（除・為替影響：受注+28.6%、売上+0.2%）
営業利益は粗利率の悪化、販管費の増加等により減益（除・為替影響：▲52億円）
- ◆ 測定器事業： 売上はほぼ前年並み、営業利益は減益
- ◆ 新事業他： 航空機用計器事業の譲渡に伴い、売上は減収、営業損失は縮小

制 御

測 定 器

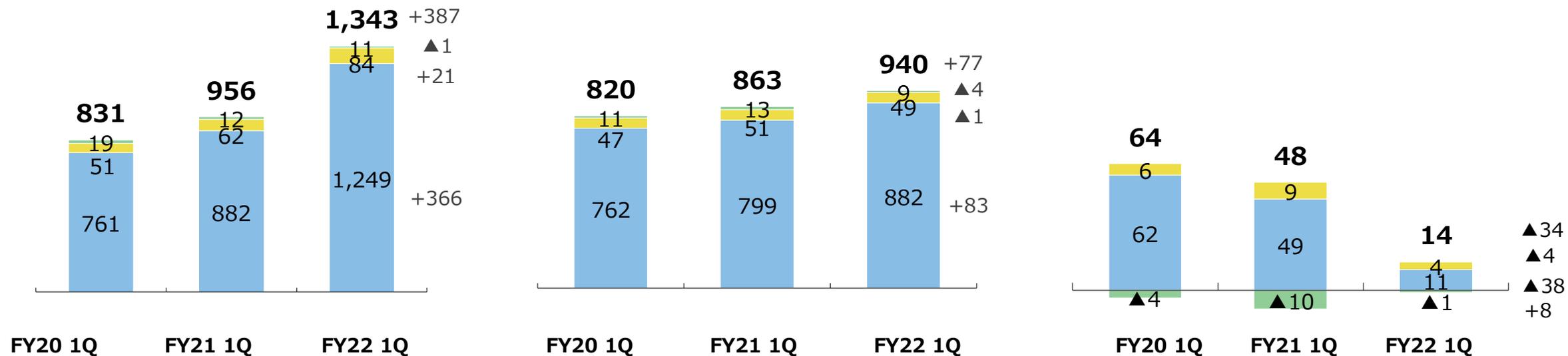
新事業他

(億円)

受注高

売上高

営業利益



制御地域別 受注・売上高

◆ 受注は、中東・アフリカ、中南米が好調。

◆ 受注：+252億円、+28.6%（除・為替影響） 売上：+1億円、+0.2%（除・為替影響）

（億円）

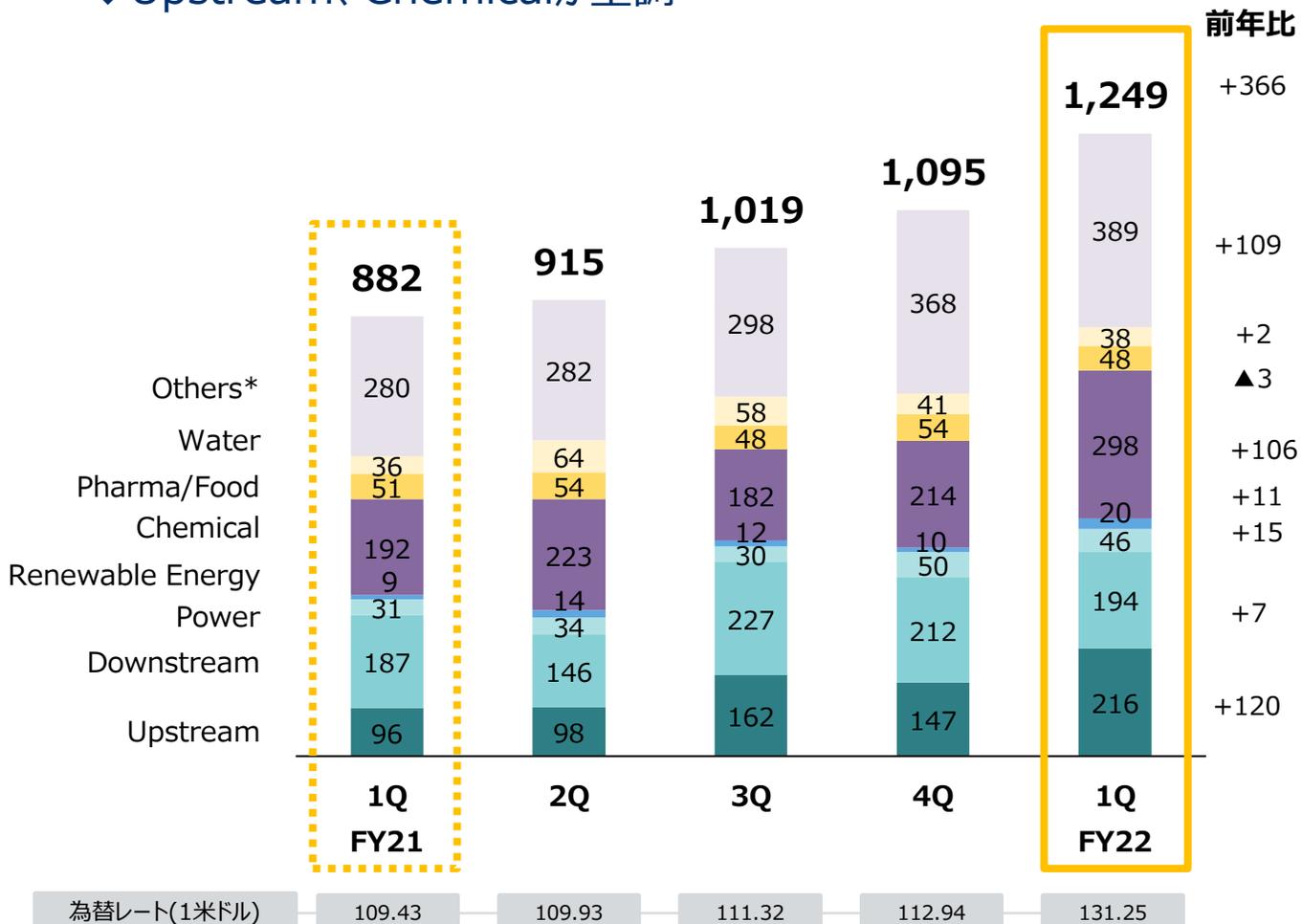
受注高	FY21 1Q (A)	FY22 1Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	260	339	+79
アジア	326	452	+126
（東南アジア・ 極東）	(144)	(169)	(+25)
（中国）	(151)	(229)	(+78)
（インド）	(31)	(54)	(+23)
欧州・CIS	124	94	▲30
中東・アフリカ	88	214	+126
北米	59	91	+32
中南米	25	58	+33
海外小計	622	909	+287
合計	882	1,249	+366
為替レート 1米ドル=	109.43円	131.25円	+21.82円

売上高	FY21 1Q (A)	FY22 1Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	220	236	+17
アジア	283	331	+48
（東南アジア・ 極東）	(134)	(150)	(+16)
（中国）	(128)	(146)	(+18)
（インド）	(21)	(35)	(+14)
欧州・CIS	107	98	▲9
中東・アフリカ	90	104	+14
北米	73	86	+13
中南米	26	27	+1
海外小計	579	646	+67
合計	799	882	+83
為替レート 1米ドル=	109.43円	131.25円	+21.82円

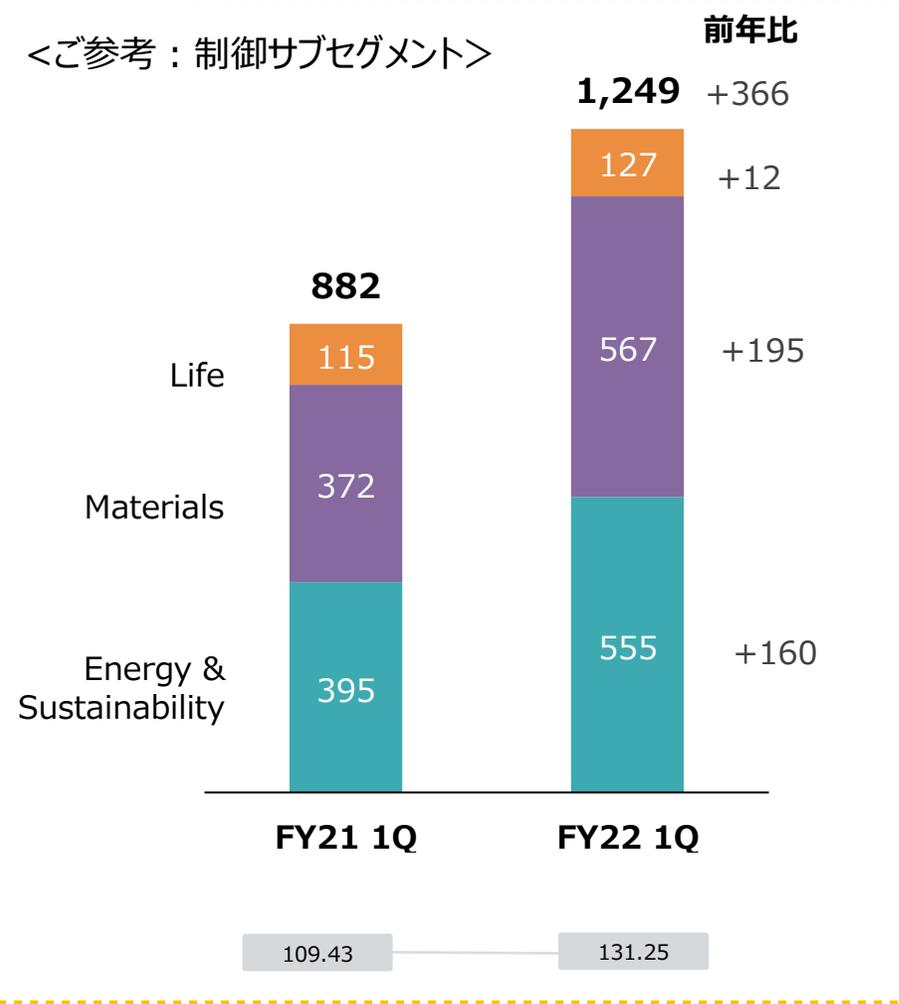
制御業種別 受注

(億円)

◆Upstream、Chemicalが堅調



<ご参考：制御サブセグメント>



*Othersの主な業種：ELECTRICAL & ELECTRONIC、IRON & STEEL、PULP & PAPER ほか

制御サブセグメント別 受注・売上高

(億円)

受注高	FY21_1Q	FY22_1Q	前年同期比	伸長率
エネルギー&サステナビリティ	395	555	+160	+40.5%
マテリアル	372	567	+195	+52.4%
ライフ	115	127	+12	+10.1%
制御計	882	1,249	+366	+41.6%
為替レート 1米ドル=	109.43円	131.25円	+21.82円	-

売上高	FY21_1Q	FY22_1Q	前年同期比	伸長率
エネルギー&サステナビリティ	371	389	+18	+4.8%
マテリアル	326	388	+62	+18.9%
ライフ	102	105	+3	+2.8%
制御計	799	882	+83	+10.3%
為替レート 1米ドル=	109.43円	131.25円	+21.82円	-

FY22業績予想

◆ 為替レート前提のみ変更（1USD=120円→130円）

(億円)

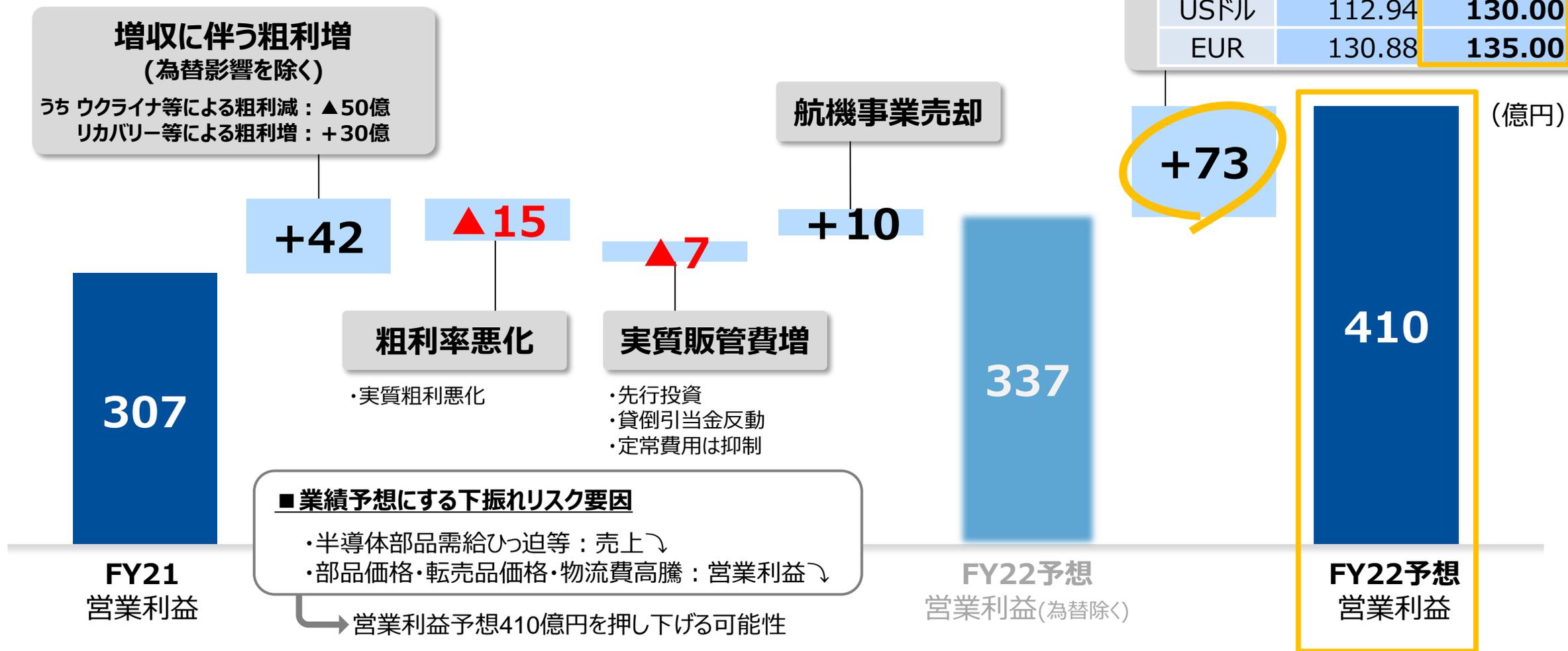
	FY21(A)	FY22予想 5/10(B)	FY22予想 8/9(C)	前回予想比 (C-B)	前年比 (C-A)	伸長率 (C/A-1)	
受注高	4,205	4,390	4,530	+140	+325	+7.7%	
売上高	3,899	4,070	4,210	+140	+311	+8.0%	
営業利益	307	370	410	+40	+103	+33.6%	
ROS(%)	7.9	9.1	9.7	+0.6pt	+1.8pt	-	
経常利益	358	380	420	+40	+62	+17.5%	
税引前利益	301	380	420	+40	+119	+39.5%	
法人税等	88	130	140	+10	+52	+59.1%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	213	250	280	+30	+67	+31.6%	
EPS(円)	79.73	93.66	104.90	+11.24	+25.17	-	
為替レート	1米ドル=	112.94円	120.00円	130.00円	+10.00円	+17.06円	-

■業績予想にする下振れリスク要因

- ・半導体部品需給ひっ迫等：売上↘
- ・部品価格・転売品価格・物流費高騰：営業利益↘

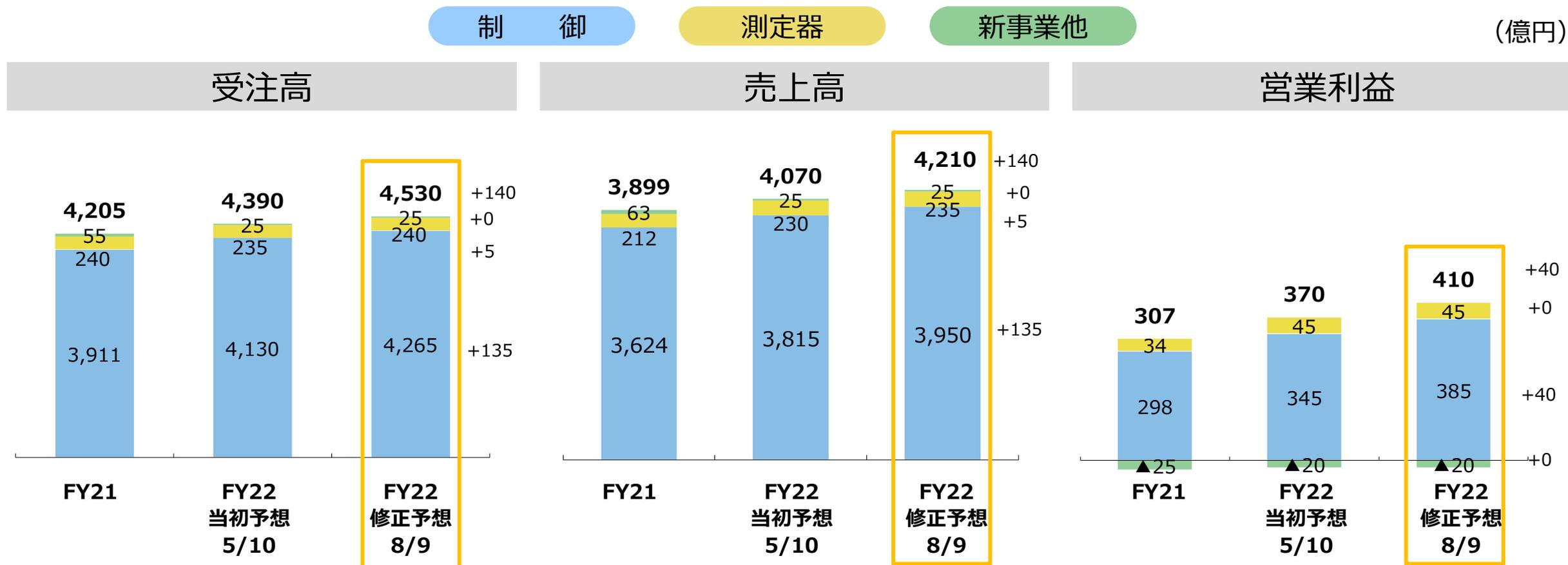
営業利益分析 予想（修正あり）

◆ 為替レート前提のみ変更（1USD=120円→130円）



セグメント別 受注・売上・営業利益 予想（修正あり）

◆ 為替レート前提のみ変更（1USD=120円→130円）



新事業他: FY21の数字は従来の「航機その他事業」の実績を表示しています

制御地域別 受注・売上高 予想

◆ 為替レート前提のみ変更（1USD=120円→130円）

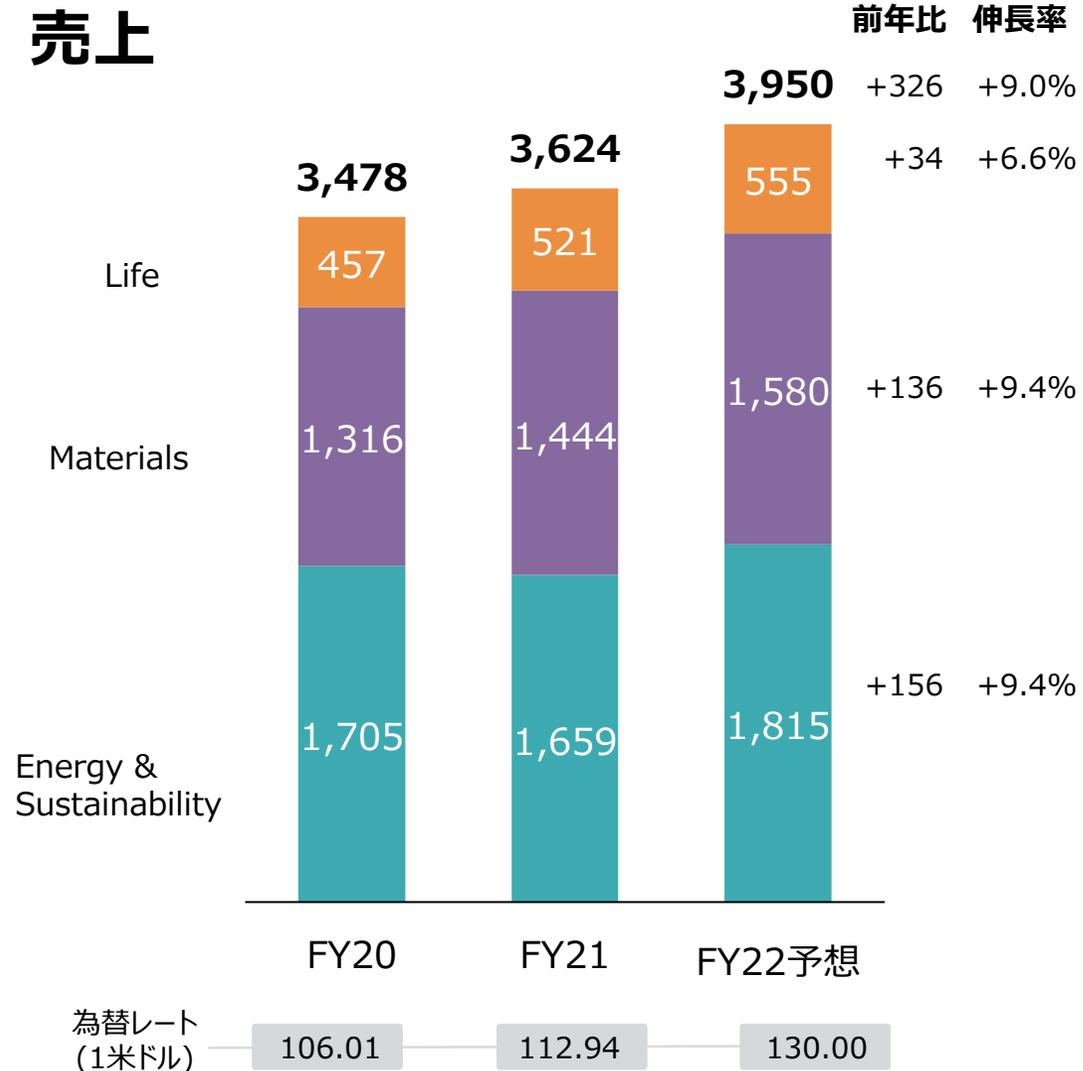
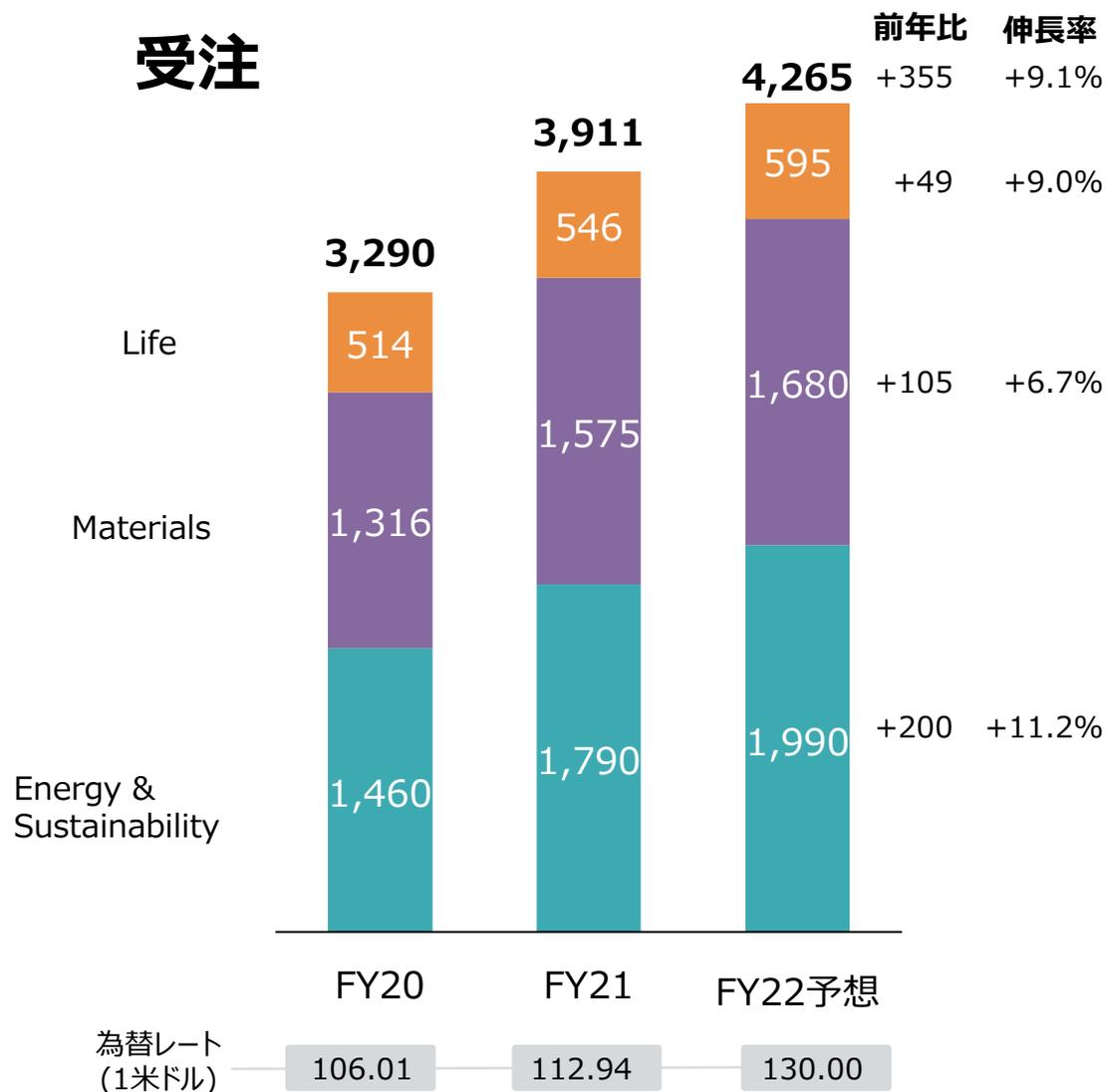
(億円)

受注高	FY21 (A)	FY22 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,202	1,250	+48
アジア	1,340	1,500	+160
（東南アジア・ 極東）	(597)	(680)	(+83)
（中国）	(591)	(640)	(+49)
（インド）	(152)	(180)	(+28)
欧州・CIS	421	380	▲41
中東・アフリカ	517	615	+98
北米	318	390	+72
中南米	113	130	+17
海外小計	2,709	3,015	+306
合計	3,911	4,265	+355
為替レート 1米ドル=	112.94円	130.00円	+17.06円

売上高	FY21 (A)	FY22 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,094	1,175	+81
アジア	1,257	1,400	+143
（東南アジア・ 極東）	(567)	(630)	(+63)
（中国）	(546)	(600)	(+54)
（インド）	(144)	(170)	(+26)
欧州・CIS	432	380	▲52
中東・アフリカ	432	535	+103
北米	302	340	+38
中南米	107	120	+13
海外小計	2,530	2,775	+245
合計	3,624	3,950	+326
為替レート 1米ドル=	112.94円	130.00円	+17.06円

制御サブセグメント別 受注・売上高 予想

(億円)



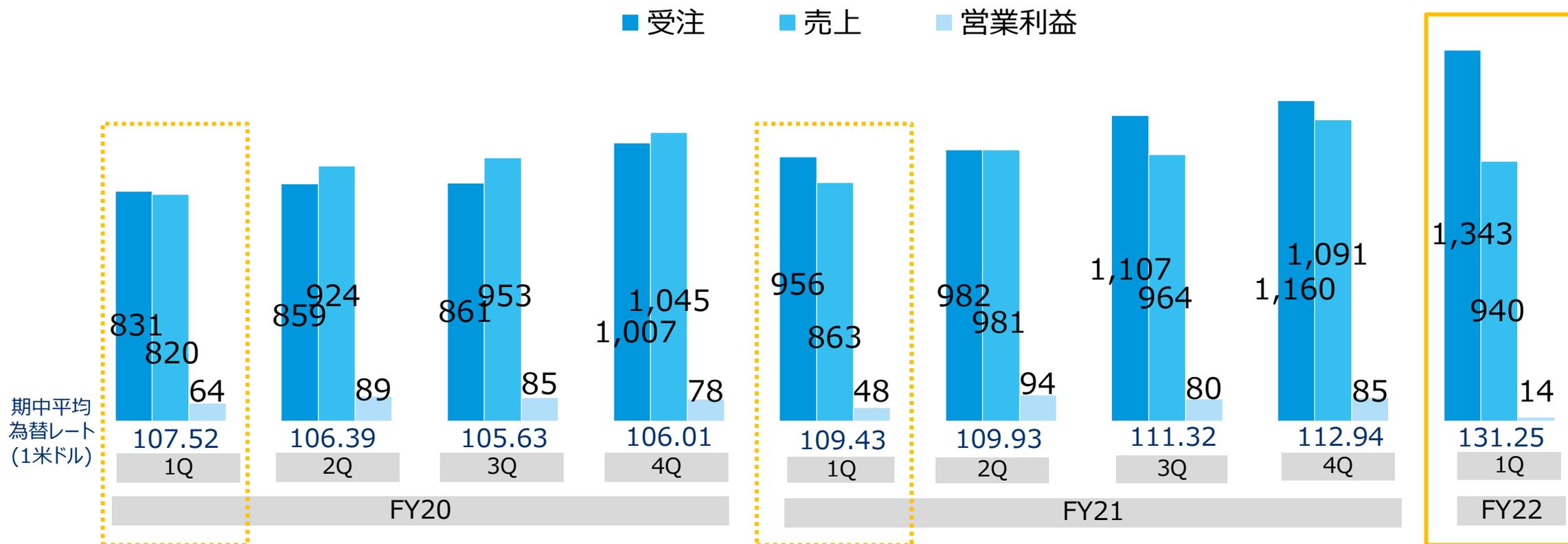
決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

補足：四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向

(億円)

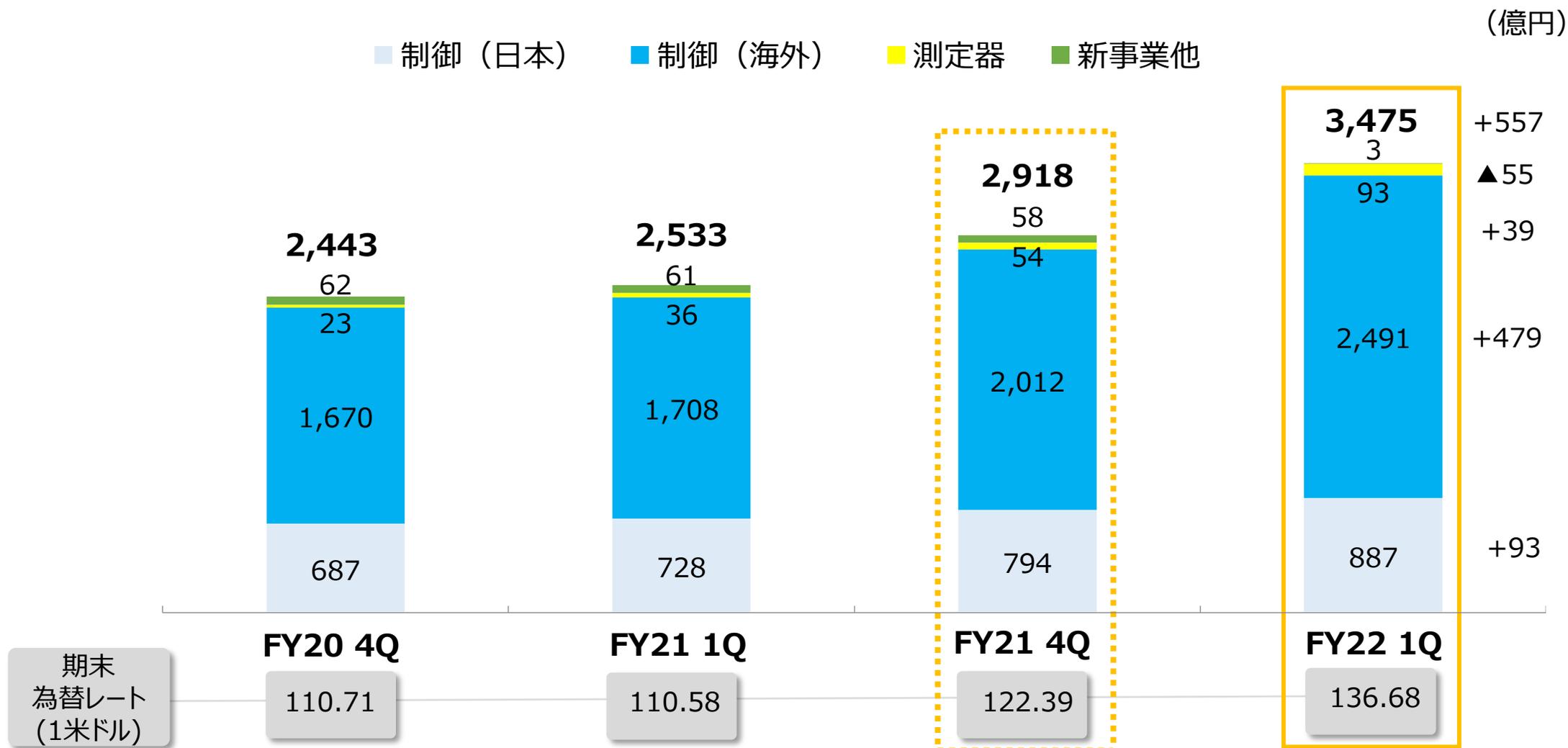


補足：営業外・特別損益

(億円)

	FY21_1Q	FY22_1Q
営業利益	48	14
営業外収益	11	23
営業外費用	6	11
経常利益	53	26
特別利益	0	0
特別損失	3	1
税引前利益	50	26
法人税等	20	12
親会社株主に帰属する 四半期純利益	30	13
(税負担率)	29.7%	18.0%

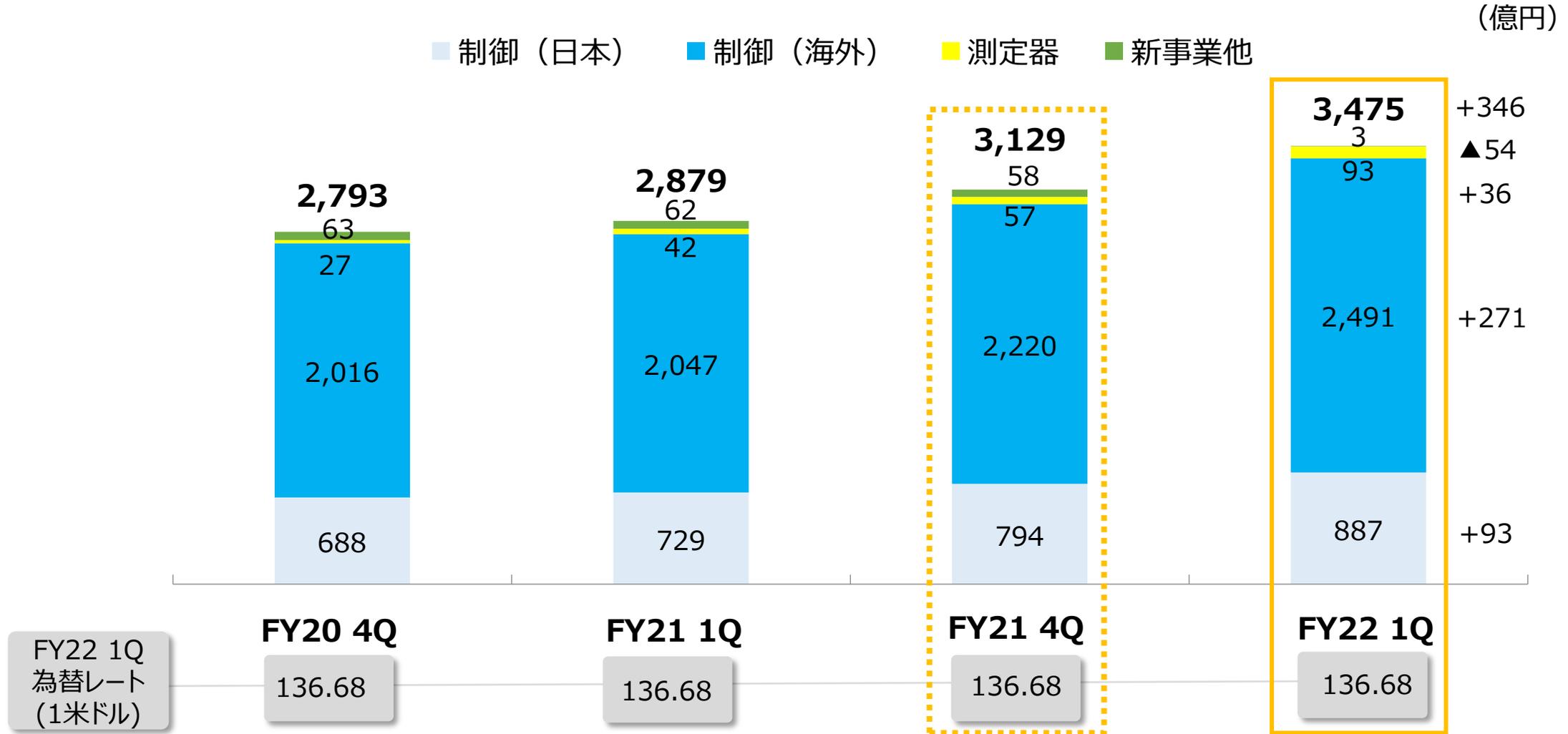
補足：セグメント別 受注残推移



FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています
 航機その他のFY21末受注残は、4月1日付譲渡対象を含みます

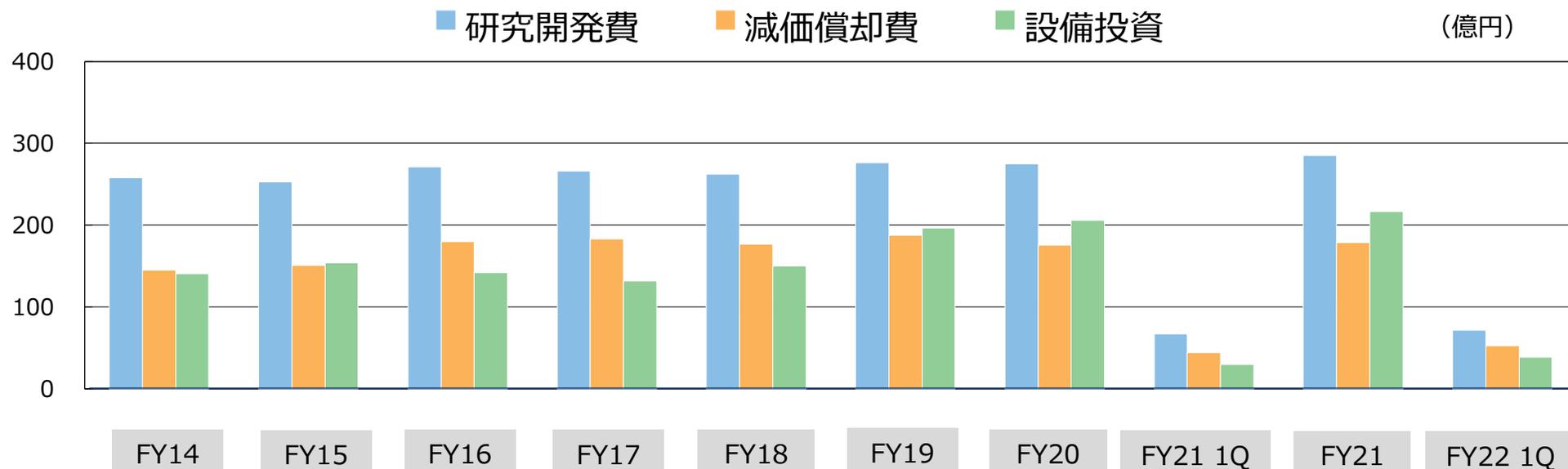
補足：セグメント別 受注残推移

* FY22 1Q期末為替レート換算



FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています
航機その他のFY21末受注残は、4月1日付譲渡対象を含みます

補足：研究開発費・減価償却費・設備投資



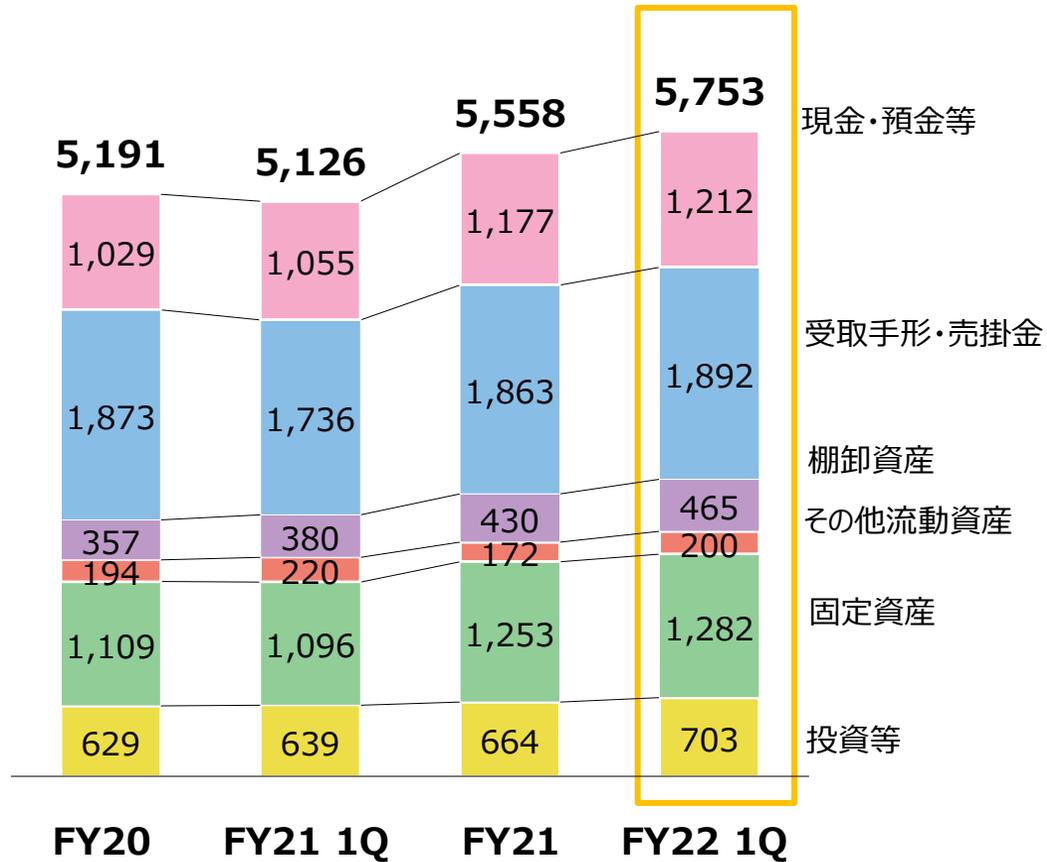
	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21 1Q	FY21	FY22 1Q
研究開発費 (対売上高比率)	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	262 6.5%	276 6.8%	275 7.3%	67 7.8%	285 7.3%	72 7.6%
減価償却費 (対売上高比率)	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	177 4.4%	188 4.6%	176 4.7%	44 5.1%	179 4.6%	47 5.0%
設備投資 (対売上高比率)	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	132 3.2%	150 3.7%	* 196 4.9%	206 5.5%	30 3.5%	217 5.6%	36 3.9%

*FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

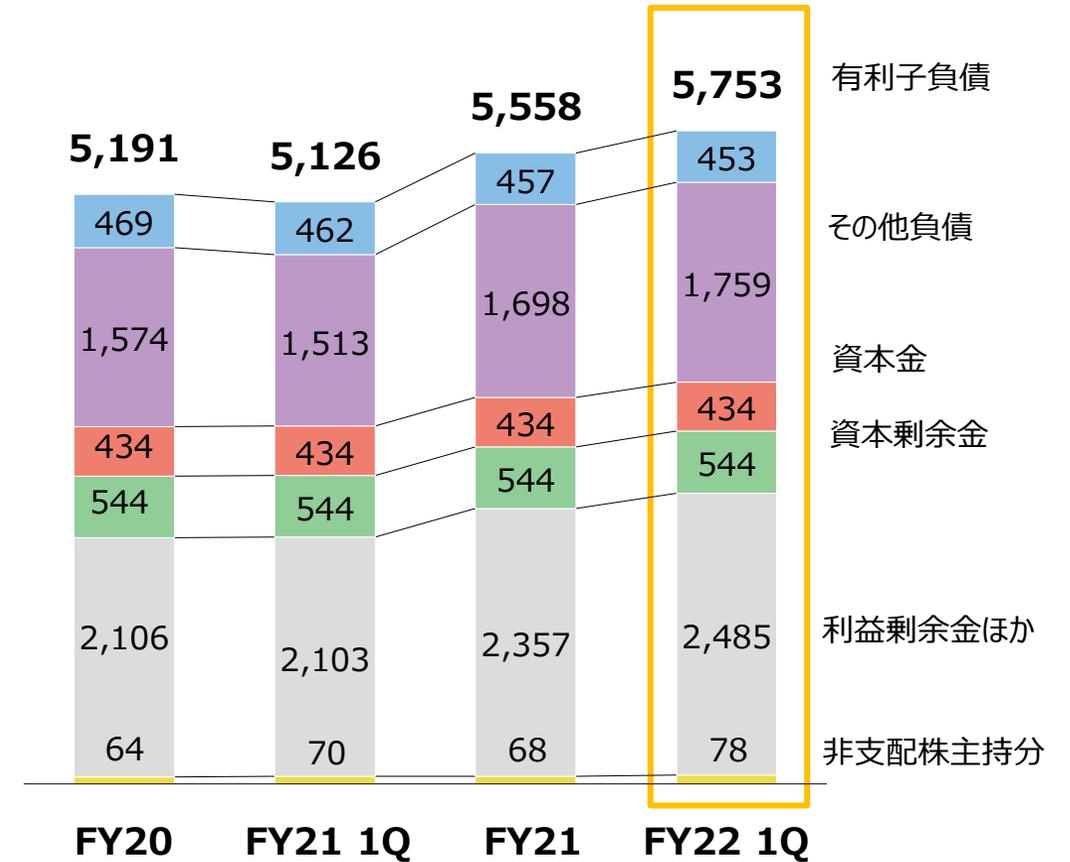
補足：貸借対照表

(億円)

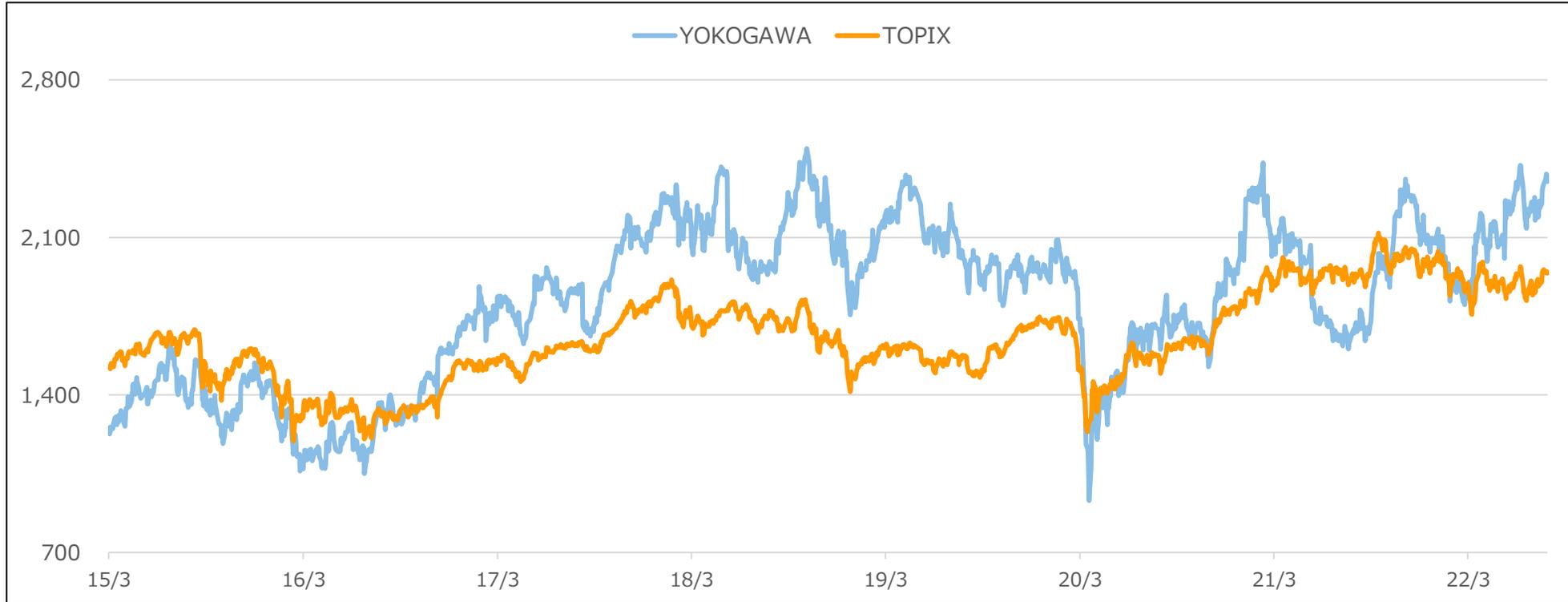
資産



負債・資本



補足：株価の状況



(¥)

	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	22/6	22/7/29
Yokogawa	1,295	1,163	1,752	2,198	2,291	1,303	2,038	2,099	2,241	2,347
TOPIX	1,543	1,347	1,512	1,716	1,592	1,403	1,954	1,946	1,871	1,940

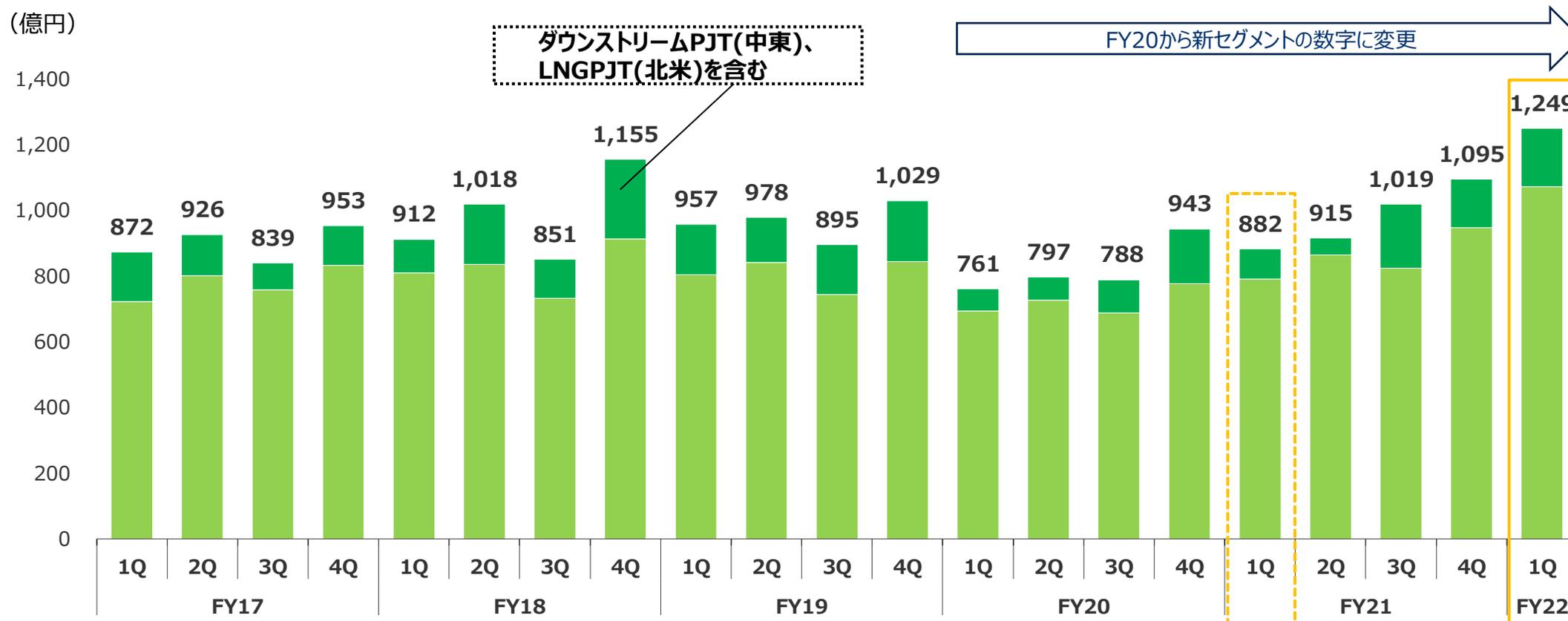
参考資料

- ・制御ビジネス金額別受注推移
- ・トピックス
- ・採用されているESG関連インデックスなど

ご参考：制御ビジネス金額別受注推移

約 3 億円*以上の大口PJT比率は10~15%程度のみ

* 3MUS\$



	FY17				FY18				FY19				FY20				FY21				FY22
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q																
USD	111.42	111.29	111.77	110.70	109.53	110.72	111.34	111.07	109.67	108.67	108.90	108.96	107.52	106.39	105.63	106.01	109.43	109.93	111.32	112.94	131.25

ご参考：トピックス（4/1～6/30）

4月

医薬品原薬・中間体の開発製造受託事業を行う合併会社の事業開始に関するお知らせ
ペーパレスレコーダ・データロガー「SMARTDAC+」向けにAI搭載「設備・品質予兆検知ツール」を発売



5月

廃棄物・バイオマス発電所向け効率改善技術をもつデンマークのDublix社を買収
横河電機とドコモが、5G・クラウド・AIを活用したリモート制御に成功
【横河電機/三菱重工業】日本財団－DeepStar連携技術開発助成プログラムに採択され、AIを活用するロボットシステムの研究開発を共同で実施
【オメガシミュレーション】海洋石油・天然ガス分野における脱炭素化推進に係る日本財団－DeepStar連携技術開発助成プログラムに2件採択

6月

クラウドベースのOpreX Asset Health Insightsサービスを開始
「DX注目企業2022」に選定
ベルギーの大手エンタープライズソフトウェア会社Waylayに出資 ～クラウドベースソリューションの拡大を加速～
民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」にサポーターカンパニーとして参加



7月

製造業のDXを支援する「横河デジタル株式会社」を設立
EcoVadisのサステナビリティ調査で「ゴールド」評価を獲得



ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2022年7月現在

DJSI-Asia Pacific Index
FTSE4Good Index Series
FTSE Blossom Japan Index
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
MSCI ESG Ratings AA
MSCI ESG Leaders Indexes
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数
MSCI 日本株 女性活躍指数
ISS ESG - ESG コーポレートレーティング Prime
Sustainalytics Top-Rated ESG Regional Performer
CDPサプライヤー・エンゲージメント・リーダー
SNAMサステナビリティ・インデックス
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数
Carbon Clean 200 (Clean200) リスト選定
EcoVadis サステナビリティ調査 ゴールド (初)

Member of

Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

2022 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent



2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



横河電機株式会社のMSCI Indexesへの組み入れ、および本レポートでのMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による横河電機株式会社の後援、推薦またはプロモーションではありません。MSCI IndexesはMSCIの独占的財産あり、その名称およびロゴはMSCIおよびその関係会社の商標またはサービスマークです。

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の用件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

横河電機株式会社

IR部

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

Co-innovating tomorrow™

